

東日本大震災の復旧・復興のための技術支援報告会

平成24年3月30日(金) 5F 大会議室

次 第

司会進行 鈴木防災研究調整役

1. 挨拶 (10:00)

所長 高橋順二

2. 報告会 (10:05～11:35)

各課題発表10分

■地震・津波

・津波被災農地の復旧と除塩

○友正達美、原口暢朗

・東日本大震災による水路・パイプラインの被災と復旧

○中嶋 勇、○有吉 充

・東日本大震災によるフィルダム・ため池の被災と復旧

○増川 晋、田頭秀和、林田洋一、黒田清一郎

○堀 俊和、上野和広

・山田湾・吉浜湾における津波の再現と復興計画案の安全性評価

丹治 肇、○桐 博英

・津波に対して壊れない粘り強い堤防構造の開発

～被災メカニズムの解明と新たな技術開発の必要性～

○松島健一、丹治 肇、桐 博英

・岩手県大船渡市吉浜における農地復興計画作成支援

○福與徳文、山本徳司、桐 博英

■放射能・除染対策

・土壌固化剤を用いた表土剥ぎ取りによる水田の除染について

○原口暢朗、若杉晃介、瑞慶村知佳

・土壌攪拌（浅しろかき）・強制落水工法による水田の除染について

中 達雄、今泉眞之、奥島修二

野口克行、寺川浄司、馬場貴士、石島正人

○塩野隆弘、白谷栄作、濱田康治、人見忠良、石田 聡、吉

本周平、樽屋啓之

・気球および無人ヘリによる空間放射線量の測定

今泉眞之、○石田 聡、吉本周平

総 括

復興支援プロジェクトチーム長 毛利栄征

■東日本大震災の復旧・復興のための技術支援報告会の開催の様（抜粋）

東日本大震災から1年余が経過しました。これを一つの節目とし、これまでの支援活動を総括するため、全職員を対象とした報告会を開催しました。

次年度4月以降の被災地支援に向け、所内の態勢を整えているところです。

○パイプラインの被災と復旧 ＜土質担当 有吉研究員＞



○景観シミュレーションの導入 が住民のコミュニケーションを 活発化させた事例を紹介 ＜地域計画担当 福与上席＞



○気球および無人ヘリによる 空間放射線量の測定方法 ＜水資源工学担当 石田主研＞



●マスコミで取り上げられた記事（主要なもの）

2011.06.08	農業共済新聞	東日本大震災 災害に強い地域へ 農研機構・農村工学研究所が報告会
2011.08.10	日本農業新聞	除塩方法 排水性で選択
2011.08.16	日本農業新聞	津波と向き合う（下）
2011.08.20	日本農業新聞	セシウム汚染 表土に固化剤 水田浄化へ試験開始
2011.08.20	共同通信	汚染水田でセシウム除去実験 福島・飯館村で農工研
2011.08.20	河北新報	水田のセシウム、飯館で除去実験 福島・農工研開始
2011.08.20	福島民友新聞	放射性物質の除去実験 農研機構が飯館の水田で
2011.08.25	日本農業新聞	安価、多様な除染可能 セシウム吸着剤開発
2011.08.25	日本農業新聞	代かきと排水で除染
2011.08.26	全国農業新聞	福島・飯館村で除染実験 表土に固化剤
2011.08.26	日本農業新聞	ハウスの補強大切 農業施設学会で農工研 地震対策を報告
2011.09.07	農業共済新聞	農地の放射性セシウム濃度 濃度別除染方法を検討中
2011.09.15	日刊工業新聞	農地除染実験 効果を確認
2011.10.05	農業共済新聞	放射性物質除染技術の実証試験結果
2011.11.24	日本農業新聞	農村復興へシンポ
2011.12.08	河北新報	沿岸農村 存続の危機
2011.12.08	日本農業新聞	「減災農地」を提案 沿岸部の津波対策に
2011.12.09	日本農業新聞	地下水塩害、改善へ
2012.01.01	茨城新聞	実証実験に手応え
2012.03.07	読売新聞	ため池耐震性の調査法県検証委など考案